

## 武道授業における指導 実践研究（事例報告）

<h2 style="margin: 0;">柔道</h2> <p style="margin: 0;">地域指導者との連携を生かし、安全で効果的な指導を目指して。</p>	<p style="margin: 0;">阿久根市立三笠学校（鹿児島県）</p> <p style="margin: 0;">電話番号 0993(75)0003</p> <p style="margin: 0;">メールアドレス abe-y@gamil.city.akune.kagoshima.jp</p>
--	---

## ● 実践研究のねらい

- 専門性の高い地域指導者と連携した授業づくりを行うことで、より専門的な知識・技能の定着を図る。
- 地域指導者と連携することで、安全面に留意した授業を行うとともに、生徒自身の身の安全を守るための技能を身に付けさせ安全を確保する。
- 地域指導者と安全で効果的な授業づくりについて協議することで、教師自身の柔道に関する指導力の向上を図る。

## ● 指導モデル 第1学年（1学級35名）

種目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学習の流れ	オリエンテーション（柔道）	柔道										
		導入（礼儀作法（柔道での挨拶の仕方、座り方）、健康観察、本時の学習の見通し）										
		受け身の学習										学習のまとめ
		崩し・体さばきの学習										
		基本動作・固め技の学習							投げ技の学習			
まとめ（整理運動、本時の振り返り・チェックシート記入・次時の連絡・挨拶）												

## ● 指導の工夫

- 1 学習内容を効果的に指導するための工夫
  - (1) 地域指導者との連携
 

主に教員が指導・助言を行うが、より詳しく専門的な指導を地域指導者に協力してもらう。さらに、技の示範を教員と地域指導者が行うことで、明確な技のイメージをもたせる。
  - (2) パートナーの確保
 

二人一組で行うようにすることで授業内容の対話・確認などが行え、生徒自身での発見を促す。
  - (3) チェックシートの活用
 

授業を振り返り、まとめなどのチェックシートを書く時間を設ける。
- 2 生徒の安全を確保するための工夫
  - (1) 安全を確保した場の設定
 

生徒の立ち位置について、前後左右に重ならないよう列をずらし、ゆとりのある間隔をとらせる。
  - (2) 生徒の実態に合わせた段階的指導
 

受け身の学習については、段階的に十分時間をとりながら行う。
  - (3) 安全への意識付け
 

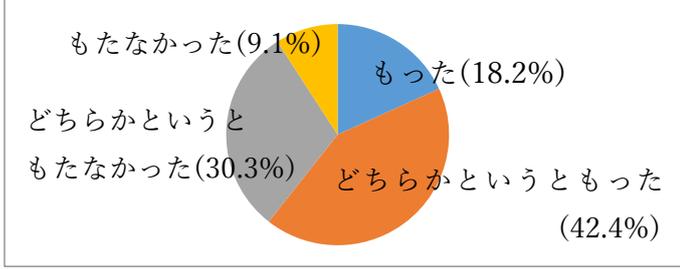
教師による健康観察と併せて、生徒自身にもチェックシートを用いて安全確認を行わせる。

## ● 授業の様子

		
<p><b>【地域指導者による技の示範①】</b> 地域指導者が示範・技の説明を行い、動作・技の理解を促す。受け身の示範・説明の様子。</p>	<p><b>【地域指導者による技の指導②】</b> 組み方・体さばきの示範・説明の様子。</p>	<p><b>【チェックシートの利用】</b> 自分とパートナーで互いに健康観察や爪・めがね・女子はヘアピンの確認をする。授業後は、反省欄への記入も行う。</p>
		
<p><b>【段階的な指導の実地】</b> 受け身の練習の様子。段階的に指導を行う。</p>	<p><b>【学習内容を確認するための掲示物】</b> 安全面の約束事や技名などは、常に黒板で確認できるように掲示する。</p>	

## ● 生徒の意識、感想、変容など

### ○ アンケート結果・感想(1学年 35名にアンケートを実施)

柔道の授業を受けて、興味をもちましたか？	地域指導者の指導についてどう思いましたか？
 <p>もたなかった(9.1%) もった(18.2%) どちらかというともたなかった(30.3%) どちらかというともった(42.4%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初と比べると、受け身ができるようになった。</li> <li>・ 技のお手本がすごかった。</li> <li>・ 細かく教えてもらい、分かりやすかった。</li> <li>・ 「もっとこうした方が良いよ。」とアドバイスをしてくれた。</li> <li>・ 固め技が、上手くできるようになった。</li> </ul>

「柔道を受けて、興味はわきましたか？」の「ある」・「どちらかというともった」と回答した生徒の中には、『もっとしてみたい。技の種類を学びたい。』などの感想が多かった。「地域指導者の指導についてどう思いましたか？」という質問では、上記の感想のように技能指導で上達することができたという感想が多かった。アンケートの結果から、全員が初めて経験した柔道であったが、半数以上の生徒が興味をもち、専門的に授業を行えた。

## ● 成果と課題

生徒の全員が初めて経験する柔道であったが、アンケート結果から半数以上の生徒に柔道への興味をもたせることができた。残りの生徒の意見は、「怖い。先生のお手本を見て理解はしたが、どう動けばよいかわからない。」という意見があり、恐怖心がある生徒に対しての配慮がまだ十分ではなかったと感じた。

しかし、今回、地域指導者と連携することで、怪我をした生徒がおらず、安全に行うことができ、技能指導もより専門的な指導が行えた。また、日本の伝統的文化と深い関わりをもつ柔道を経験し、興味をもたせることもできた。

今後、上級生になると段階的に授業を発展させていくため、より安全に配慮しながら技の上達を目指し、柔道の楽しさを味わわせていきたい。